第３次南アルプス市総合計画
施策マネジメントシート

作成日：令和8年 7月17日
更新日：

政策№	3	政策名	「こどもまんなか、夢や希望が描けるまち」の実現	施策主管課	子育て支援課
施策№	13	施策名	保育環境の充実	施策主管課長名	飯野 一幸
施策関連課名	（市立学校給食センター）				

１ 施策の目的と指標

意図（この施策によって何をどう変えるのか）
保育所、放課後児童クラブ、児童館など、保育を行う受け皿を整備し、実施される保育の質を確保する。利用者負担を抑えた子どもの居場所を確保し、安心して子育てができる環境において、こどもたちの成長と、希望と喜びが感じられるまちとしていく。

	成果指標（意図の達成度を表す指標）	単位
1	「南アルプス市では、安心してこどもを預けられる環境がある」と思う市民の評価	―
2	「南アルプス市は子育てしやすいまちだ」と感じる市民の割合	%
3	保育所などの保育環境に満足している保護者の割合	%
4	放課後児童クラブの保育環境に満足している保護者の割合	%

成果指標の測定方法 どのように実績値を把握するか		
	1	市民アンケートにおいてWell-being指標を測定
	2	市民アンケート『南アルプス市は子育てしやすいまちだと思いますか』において、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した人の割合
	3	保育所実施アンケート『保育所などに対する保護者の評価』において、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した人の割合
	4	放課後児童クラブ実施アンケート『児童クラブに対する保護者の評価』において、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した人の割合

２ 指標等の推移

		指標名	単位	数値区分	前期基本計画 R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	後期基本計画 R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度
成果指標	1	「南アルプス市では、安心してこどもを預けられる環境がある」と思う市民の評価	―	目標値	3.5	3.5	3.6	3.6	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.8
				実績値	3.5									
	2	「南アルプス市は子育てしやすいまちだ」と感じる市民の割合	%	目標値	51.0	52.0	53.0	54.0	55.0	55.0	55.0	55.0	55.0	55.0
				実績値	61.4									
	3	保育所などの保育環境に満足している保護者の割合	%	目標値	98.6	98.6	98.6	98.6	98.6	98.6	98.6	98.6	98.6	98.6
				実績値	97.7									
	4	放課後児童クラブの保育環境に満足している保護者の割合	%	目標値	77.2	77.9	78.6	79.4	80.0	81.0	82.0	83.0	84.0	85.0
				実績値	84.7									

３ 施策の役割分担

市民の役割	事業者の役割
• 地域において安心してこどもを産み育てることができるよう、こどもや子育て世代に気軽に声かけをします。 • 地域で近所のこどもたちが気軽に外遊びができる場や機会を設けます。	• 保育や一時預かりなどの子育てサービスの充実を図ります。 • 保育所や学校施設などを活用した、こどものための習い事や体験機会を設けます。 • 従業員が子育てしながら働きやすい職場環境の整備を推進します。

４ 施策の現状と課題および状況変化・住民意見等

※現状と課題および基本計画策定時点からの状況変化・住民意見等を記載しています。

施策の現状と課題	施策を取り巻く状況変化 関係者からの意見・要望
○転入による社会増、核家族化と女性の社会進出、保育料の無償化などを背景に、保育所の入所や学校放課後の預りなど、保育ニーズは高くなっている。 ○施設寿命を踏まえ、既存施設や民間と協同し、保育の量（施設整備）を確保し、保育の質（保育内容）を向上していくことが求められる。	○令和8年4月から「地球のくらし保育園」が開業し、令和9年4月には「山梨英和ロバートソンこども園」が開業予定となっている。 ○民間保育所の参入により、特色ある保育の提供ができる。 ○若草南放課後児童クラブを現在学校の敷地内建設中である。放課後児童クラブについては狭隘・老朽化施設があるので今後増築または建て替えなどの検討が必要となる。

５ 予算等の推移

※当初予算。骨格予算の年度は6月補正後

区分		7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
関連事業本数		24	25			
関連事業予算額（単位：千円）		2,618,735	3,251,359			
（予算額の内訳）	国庫支出金	937,473	1,239,114			
	県支出金	468,561	593,901			
	地方債	32,000	153,500			
	その他	99,221	188,546			
	一般財源	1,081,480	1,076,298			

6 施策の成果水準とその背景

目標達成度 （目標値との比較）	背景と要因等（根拠となる実績値・判断基準等）
☑ 目標より高い実績値だった □ 目標どおりの実績値だった □ 目標より低い実績値だった	成果指標４項目中、３項目が目標を達成している。成果指標①は目標値どおり、成果指標②は目標値を10.4ポイント上回り、成果指標③は目標値を0.9ポイント下回り、成果指標④は目標値を7.5ポイント上回った。継続して取り組んできた保育の質の向上や待機児童対策として民間活力の導入、放課後児童クラブの環境整備などの取組が成果につながったものと考えられる。
時系列比較 （どのように変化してきたか）	背景と要因等（根拠となる実績値・判断基準等）
□ 成果がかなり向上した ☑ 成果は変わらない（横ばい状態） □ 成果がかなり低下した	成果指標②は前年実績を0.3ポイント上回り、成果指標③は前年実績を0.1ポイント上回り、成果指標④は前年実績を7.5ポイント上回っている。 全体として高い成果を維持していると思うが、概ね横ばいで推移していると考えられる。
他団体比較 （近隣他市、県・国との比較など）	背景と要因等（根拠となる実績値・判断基準等）
□ かなり高い成果水準である ☑ ほぼ同水準である □ かなり低い成果水準である	成果指標については、市独自のアンケートに基づくものであり他団体と比較することができない。一方、本市では保育ニーズの増加に対応するため、令和8年4月に民間の「地球のくらし保育園」が開園し、令和9年4月には「山梨英和ロバートソンこども園」の開園も予定されている。また、若草南放課後児童クラブの整備を進めるなど、保育の受け皿確保に向けた施設整備を推進している。

7 施策の方向性

• 保護者が安心して預けられるように、こどもの特性や発達過程に沿った適切な支援など、保育の質の向上を図ります。
• 保育所待機児童ゼロを維持するとともに、女性活躍を促進するため、0～2 歳児の入所受け入れ体制の強化など、保育の量の確保を図ります。
• 保育士の処遇改善や働き方改革など、保育人材の確保に努めます。
• 市内の公立・私立認可保育施設等が、市民に安全・安心な保育を継続的に提供するため、相互に協力する体制の構築を目指します。
• 放課後の児童の居場所である放課後児童クラブへの多様なニーズに対応するため、プログラムの強化や専門性を持つ支援員の確保に努めます。
• 放課後の児童の居場所として、新たな施設の整備や、学校や児童館などの既存施設の有効利用、民間事業者の活用など受け皿の確保を図ります。

8 施策の目標達成のための基本事業の今年度の取組（事務事業）状況・今後の課題・今後の方針

重点事業		今年度の取り組み状況	今後の課題	今後の方針
1	保育の質と量の確保	・県との共同事業やCLMで、保育指導職や保育士の資質向上に取り組む ・ICTを活用し保護者の利便性の向上・保育士の事務負担の軽減に取り組む ・民間事業者の施設整備の支援	・人口動態（出生数、転入）や施設状況（配置、築年数）を踏まえ量の確保を検討 ・ICTタブレットについては設置端末が少ないため入力に時間がかかる ・発達障害児童等の受入や専門施設との連携	・民間事業者と協力し待機児童を生じさせないよう取り組む ・タブレット端末の増設の検討
2	放課後児童クラブの質と量の確保	・児童クラブ施設の新築による保育環境の整備 ・Wi-Fi環境の整備 ・ICTによる保護者との連絡機能や入退室管理システムを構築し、利便性の向上と職員の事務軽減に取り組む	・支援員の確保・技能向上 ・土曜日保育を含めた運営方法の検討	・安定して事業を継続していくため委託も含めた検討をする ・引き続き必要な環境整備に取り組む（ICT・施設）
3	子育て世帯が安心して任せることができる保育の提供	・こども誰でも通園実施 ・地域団体との協働（連携）により、多様ない場所づくりを推進する。（児童館）	・一時預かり需要への対応 ・未利用者も含めた幅広い世代への効果的な利用促進アプローチ	・環境を整え、周知を強化し利用拡大に取り組む